

福島支部における 平成26年度上期の取組み

(保険者機能強化アクションプラン(第2期))

平成26年5月30日(木)、福島県と「福島県民の健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する覚書」を締結した。

今後は、生活習慣病の発症予防、特定健診やがん検診の受診の促進、健診データの分析による健康づくり対策等、福島県民の健康づくりの推進に向けて、幅広く連携・協力していく。

連携・協力項目

連携・協力項目

1. 県民の生活習慣病の予防に関する活動に関する事
2. 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上及びがん検診等の受診率の向上に繋がる活動に関する事
3. 地域保健・職域保健連携推進に向けた活動に関する事
4. 医療費適正化に関する事
5. 健康診査結果及び医療費の分析に関する事
6. 災害時における被災者の健康支援に関する事

締結後の活動内容

福島県が9月23日(火)に開催した、「検診からはじめよう 健康ふくしまフェア」に協賛団体として参加。健診や医療費適正化に関するチラシ、ジェネリックシールの配布、測定会の実施など、協会けんぽの事業の広報をした。



佐藤知事(左)と中西支部長(当時)

平成26年9月24日(水)、郡山市と「健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」を締結した。

今後は、郡山市と協働で健康づくりの推進に取り組むことにより、郡山市民及び加入者に対して、より効率的・効果的な事業展開を図っていく。

さらに協働事業を通して、加入者(市民)の健康増進はもちろん、県をはじめとした関係機関への発信力を高めていく。

連携・協力項目

1. 特定健診結果及び医療費等のデータ分析に関すること
2. 医療費適正化に関すること
3. 特定健診・特定保健指導、がん検診等の受診促進に関すること
4. 地域・職域連携による健康づくり推進に向けた活動に関すること

締結後の活動内容

- ① 27年度以降の事業協力に向けた調整
 - ② 小学校を対象とした健康教室開催
- 等



品川市長(左)と中西支部長(当時)

福島支部の健診受診者の血圧リスクが、全国トップレベルの高さであることから、平成25年度に引き続き、福島支部加入事業所の社員食堂とタイアップした、『おとなも食育♪「社員食堂から高血圧予防」』と銘打った高血圧対策事業を実施した。

第1回目 平成26年5月27日から29日 食堂利用者 180名
第2回目 平成26年9月25日から26日 食堂利用者 40名
(1回目と2回目は別会社で実施)

内容

社員食堂での血圧測定や、ランチョンセミナーを開催。塩分量のクイズや、アルコール、運動などについて講義を行った。

また、血圧の測定ブースの設置、事業前後のアンケート実施による行動変容の評価など、従業員様の健康意識の向上を図った。

写真はいずれも5月開催時のもの



保健師による講演の様子



5/29限定特別メニュー



血圧・血流測定の様子

平成26年7月25日(金)、福島市にある福島県文化センターで、一般財団法人福島県社会保険協会、福島県社会保険委員会連合会と共催し全国健康保険協会福島県大会を開催した。福島県、政党団体、関係団体及び参加者316名が参加し、財政基盤強化のための法改正を求める大会決議を採択した。

大会決議

一、全国健康保険協会に対する国庫補助金の補助率を健康保険法が定める上限である20%(現在16.4%)に引き上げること

一、公費負担の拡充をはじめ、高齢者医療制度を抜本的に見直すこと

県大会の第二部は、「協会けんぽと取組む“健康経営”」としてヘルスケア・コミッティー株式会社 代表取締役会長・国立大学法人東京大学 特任助教 古井祐司先生による特別講演を開催し、好評を博した。

大会後の活動内容

- ① 国会議員要請行動(平成26年8月)
- ② 全国大会開催(平成26年11月18日) 等



大会の様様

5月・8月 政党・国会議員への要請

5月7日から13日にかけて、主要三政党県連、県内に縁のある国会議員16名に対して、協会けんぽ設立初の県大会への出席依頼、並びに協会けんぽの財政基盤強化に向けた要請を行った。

また、8月12日から22日にかけて、福島県大会開催の案内をした福島県選出国会議員16名のうちアポイントのとれた福島県内の12議員事務所を訪問した。

(4事務所は資料を送付)

福島県大会の大会決議、大会資料及び厚生労働大臣あて提出した5団体による要望書

(5月19日提出)を手渡し、財政基盤強化の必要性を訴えた。

7月25日 県大会の開催

福島市の福島県文化センターにおいて、協会けんぽ初の大会を開催し、財政基盤強化の取組みの必要性を確認した。

今後の取り組み

財政基盤強化のための法改正に向けて、平成27年度予算の概算請求前に再度国会議員要請活動を実施する。

全国健康保険協会 (協会けんぽ)
福島県大会盛大に開催!!
福島県630,000人の加入者のため
国庫補助割合の引き上げを!
高齢者医療制度の見直しを!

平成26年7月25日 場所: 福島県文化センター

主催: 全国健康保険協会 福島支部
共催: 一般財団法人 福島県社会保険協会・福島県社会保険委員会連合会
後援: 福島県商工会議所連合会・福島県農工商連合会・福島県中小企業団体中央会・連合福島
福島民報社・福島民友新聞社

協会けんぽの財政状況
高齢者医療への負担が増大
支出の約4割
支出が収入の伸びを上回る赤字構造
加入者の声
私たちが国にお願いしたいこと
協会けんぽへの国庫負担割合の引き上げ
高齢者医療制度の見直し

8月の議員要請に使用した大会資料

講師派遣

【平成26年5月～6月 事務講習会】

社会保険協会等が主催する事務説明会に講師を派遣し、被扶養者の再確認、申請書の様式変更、県大会等、支部の事業について説明した。(述べ24回)

【社会保険委員会研修会】

社会保険委員会が開催する研修会に講師を派遣し、健康保険制度・事務手続き、健康づくり等について説明した。(延べ8回)

情報提供

【県大会の開催】

7月25日に開催する県大会について健康保険委員にダイレクトメールを送付した結果、171名の参加があった。(健康保険委員を登録している事業所で、委員本人が欠席のため代理で出席した者を含む)

【市民向けセミナー開催の周知】

伊達市(10/5)、いわき市(10/25)と連携して実施するセミナーの開催にあたり、健康保険委員等にダイレクトメール(伊達市 677件、いわき市 279件)を送付し周知を図った。

【健康保険委員だよりの発行】

健康保険委員に毎月1回発行し、タイムリーな情報を提供した。

Q&A 県内企業の分煙の取り組みについて聞きました!

「屋外喫煙」しています
ナンシン精工 株式会社 様 (本宮市)

Q1 屋外喫煙をしようと決めたきっかけは何か?
A1 本社の社長が禁煙した際、室内に煙が充満していたことが原因のためです。(来客もあるのに、この環境ではよくないと思ったからです。)

Q2 分煙以前の状況はいかがでしたか?
A2 喫煙、給湯室、粉塵室などで喫煙可能でした。ほろほろの煙が充満していたし、反面も強い煙がこぼれて喫煙者のモラルが非常に悪かったです。

Q3 屋外喫煙にかかった経費がありましたか?
A3 屋外に煙筒とガラスで目隠りを設置しました。費用は100万円以内でした。

Q4 分煙した効果を感じますか?
A4 室内でタバコの臭いが気にならなくなりました。喫煙者自身で強い煙掃除など当番制にしたことで、モラルの向上につながりました。水でタバコの灰を拭くことから灰皿に捨てる習慣化したので火事の危険がなくなりました。

Q5 喫煙者の状況(感想)
A5 喫煙所まで行くのが面倒だし、掃除をするのも当番だけど、工務員(喫煙者)が自ら掃除活動をやっている姿も、やらざるを得ない環境になりました。

Q6 今後、検討していることはありますか?
A6 今回の具体的なことはいいが、健康のために禁煙の意識づくりも必要ではないかと思っています。

Q7 分煙したい他企業へのメッセージをください。
A7 分煙に取り組むことでタバコを吸わない人に配慮ができ、喫煙者のマナーやモラルの意識を高めることにつながりました。吸わない方への配慮や時代の流れにそって、分煙に積極的に取り組んでほしいです。

会社プロフィール ナンシン精工 株式会社 様
プラスチックのTotal Solutionを提供! 信頼を基に「オンリーワン企業」として発展を続けています。
南真化学工業株式会社(川崎市)の生産工場会社として、金型・成形・組立の一環生産システムによる高機能・高品質・高効率で「ものづくり」に取り組んでおります。
健康保険委員に関するお問い合わせ先: 全国総務グループ 電話: 024-523-3816
東京都千代田区千代田 5-1-10 03-5621-1111

健康保険委員だよりの 8月号
(分煙取り組みをされている事業所を紹介)

福島市及び福島県が開催したセミナーに運営者として参加。協会けんぽで設置したブースの来訪者に対して健診や医療費に関するチラシ及びジェネリックシールを配布し、事業の広報を実施した。また、健康に対してより関心を持っていただくために、各種測定機(血管年齢、血圧血流など)による測定会を実施した。

福島市

【福島市健康セミナー】市と共催

9月6日(土)福島市保健福祉センター
来場者数 115名

【健康フェスタ2014】参加団体

9月28日(日)福島市アオウゼ
市民の健康づくりのため、34団体が参加
来場者数 約850名



福島市健康セミナー 9/6



健康フェスタ2014 9/28

福島県

【検診からはじめよう 健康ふくしまフェア】協賛
9月23日(火・祝) 郡山市ビックパレットふくしま
協賛・後援企業多数
来場者数 約900名



健康ふくしまフェア 9/23

検診からはじめよう 健康ふくしまフェア
～あなたと大切な家族のために～

9/23 11:00-15:30 ビックパレットふくしま(郡山市) 多目的展示ホール(A)(B) **入場無料**

山田邦子さん 特別講演
「大変まだよ、がんばろう!」
乳がんを克服した山田邦子さんが、がんの早期発見の大切さを語るべく講演します。
① 2次検診実施済
② 13:00-14:40
③ 1,000名様まで

がんを予防しよう!!
① コーザセビー (70歳未満のみ)
② 大腸がんクイズ (70歳未満のみ)
③ 乳がん触診体験
④ 骨質検査装置: 骨年齢測定
⑤ がんに関するパネル展示 (がん検診の重要性など)
⑥ 食育広場による食育活動の紹介 (食生活改善の重要性)
⑦ 食育ゲーム・うつし・健康相談コーナー
⑧ 食生活相談 (食生活改善のアドバイス)
⑨ がん相談 (がん検診の重要性など)
⑩ 骨質検査 (骨年齢測定)

健康ブース
① コーザセビー (70歳未満のみ)
② 大腸がんクイズ (70歳未満のみ)
③ 乳がん触診体験
④ 骨質検査装置: 骨年齢測定
⑤ がんに関するパネル展示 (がん検診の重要性など)
⑥ 食育広場による食育活動の紹介 (食生活改善の重要性)
⑦ 食育ゲーム・うつし・健康相談コーナー
⑧ 食生活相談 (食生活改善のアドバイス)
⑨ がん相談 (がん検診の重要性など)
⑩ 骨質検査 (骨年齢測定)

人気ブースは混雑必至!! 早めの来場をオススメします

下期も継続して実施する事業

データヘルス計画策定【主管：企画総務G・保健G】

平成27年度以降に実施するデータヘルス計画を策定。下半期は、平成27年度以降の実施に向けて具体的な計画を進めていく。

業務・システム刷新(平成27年1月26日)に向けた取組み【主管：業務G・レセプトG・保健G】

現在の業務プロセス

- ・多量の紙を使用する処理
- ・サーバーの経年劣化
- ・大量データ処理に効率的に対応できない



業務プロセス・システムの改革

- ・事務処理のQCD向上
- ・情報収集・分析・発信の強化
- ・加入者サービスの質の向上

①新システムに対応した申請書切り替え(平成26年7月)

- ・商工会、社会保険労務士会・医療機関などへ広報するとともに、新様式を配付。
- ・納入告知書チラシ・健康保険委員だより・メールマガジンなどの媒体により広報。また、社会保険事務講習会や大規模事業所訪問のために出向した際にも説明を実施。

②システム変更後の実機による研修を本部で受講した職員が、支部で担当職員への伝達研修を実施。

下期も継続して実施する事業

平成26年8月以降

大規模事業所訪問

【内容】

福島支部独自の事業。支部職員が事業所を訪問し、健康保険委員や特定保健実施の勧奨など、協会けんぽや支部の事業の説明及び意見聴取をすることにより、事業主等との円滑なコミュニケーションを図るとともに、顔の見える保険者として事業主等との連携を強化する。

全グループ(業務、保健、レセプト、企画総務)のリーダー、スタッフ29名を出向対象者とし、職員の営業力向上を図る。

【対象】被保険者100人以上であって、健康保険委員未選任の事業所 172社

【中間報告】

第2四半期に実施した事業所訪問では、14名の職員が71社の事業所に出向。

- ・健康保険委員29名委嘱
- ・特定保健指導受入承諾2事業所
- ・事業者健診データ提供承諾1事業所
- ・未出向の職員については、引き続き訪問を実施